

(様式第2号)

地域振興推進費事業計画・自己評価書 (実績)

令和4年3月10日

提出区分	実績	整理番号	9	課題区分	C		
横断的な課題	リニア新時代に向けた南信州への移住・定住の促進						
地域重点政策	南信州地域における「働き方・暮らし方」の提案					南信州地域振興局	
実施機関	南信州地域振興局			担当課	所属	南信州農業農村支援センター	
事業名	南信州農ある暮らし入門研修				電話	8-237-2495	
					E-mail	minami-nosei@pref.nagano.lg.jp	
事業概要等	目的 (目指す姿)	将来長野県内への移住を希望する者や移住したも等を対象に、農業に親しむ体験型研修を南信州地域で実施することでより、多くの移住・定住者を南信州地域へ呼び込む。					
	現状と課題	【現状】 農業や自然と身近に触れあう「田舎暮らし」や「農ある暮らし」への志向は高まっているが、実際に農業に触れる機会がない方は多くいる。 【課題】 農ある暮らしに憧れる移住・定住希望者が、農作業や暮らしを体験できる場がない。					
	内容 (変更後の内容)	○体験型農業研修の開催 南信農業試験場のほ場を活用し、主要作業の集合研修3回と、作付期間中の集合による管理作業等。 ○先輩Iターン農業者による「農ある暮らし」に関する講話 ○こんにゃく、干し柿の加工方法に関するお話し					
	事業期間	令和3年5月		～	令和3年12月		
事業費等	(単位:円)						
	事業を構成する細事業名等	実施内容		実績額	備考		
	南信州農ある暮らし入門研修開催	農作業体験、座学		234,709			
	合計		234,709				
達成状況及び	成果指標			目標値	成果	達成状況	
	研修参加者数			15人	16人	● 達成 ○ 一部達成 ○ 未達成	
事業実績・成果	【事業実績】 ・3回の集合研修と週1回の管理作業(6月～10月)を実施。 ※第2回集合研修は新型コロナウイルス蔓延防止のため中止 (内容) 5月28日 第1回 夏野菜の植付け、種まき等 8月27日 第2回 夏野菜の収穫、秋野菜の植付け・種まき等(研修は中止したが、ほ場は設置) 11月5日 第3回 秋野菜の収穫 講話 ①農ある暮らし～秋冬物語～(長野県農ある暮らし相談センター農業アドバイザー 山村まゆ氏) ②売木村に来て13年(農家ゲストハウス ポレポレ 遠山政良氏) ③市田柿、こんにゃくの加工のお話し(森本 勉氏) 【事業成果】 1 受講生数 16名参加(男性6名、女性10名) 県外在住者1名、移住者4名、地元11名 2 受講者の評価 日々の生活に“農”を取り入れたいと思った、移住してきて始めた家庭菜園で生まれた疑問点を聞くことができよかった等好評価。  新型コロナウイルス感染症対策のため、他県在住の移住希望者へ積極的な参加呼びかけができず、開催の趣旨の達成が困難であった。						
今後の方向性	令和4年度は会場を南信農業試験場から変更し、講師の家庭菜園を会場に3回開催予定(5月、9月、11月)とし、経費は農政部農ある暮らし応援事業のみ ・令和5年度以降に向けて、事業効果の検証が必要						